

貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	69,044	流動負債	13,940
現金及び預金	34,384	買掛金	5,121
売掛金	19,639	未払金	2,875
商品及び製品	853	未払費用	696
貯蔵品	85	未払法人税等	1,210
コンテンツ制作勘定	8,127	未払消費税等	650
前渡金	508	前受金	1,853
前払費用	286	預り金	269
未収入金	165	賞与引当金	897
繰延税金資産	4,706	返品調整引当金	341
その他	313	その他	25
貸倒引当金	△27	固定負債	12,947
固定資産	10,704	関係会社長期借入金	10,000
有形固定資産	3,845	退職給付引当金	2,173
建物	1,882	資産除去債務	605
工具器具備品	1,961	その他	167
その他	1	負債合計	26,888
無形固定資産	1,460	純資産の部	
ソフトウェア	1,428	株主資本	52,860
その他	32	資本金	1,500
投資その他の資産	5,398	資本剰余金	66,550
投資有価証券	1	その他資本剰余金	66,550
関係会社株式	31	利益剰余金	△15,190
任意組合出資金	2,704	利益準備金	143
差入保証金	1,182	その他利益剰余金	△15,333
破産更生債権等	0	繰越利益剰余金	△15,333
繰延税金資産	1,072	純資産合計	52,860
その他	406	負債・純資産合計	79,748
貸倒引当金	△0		
資産合計	79,748		

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		82,751
売上原価		52,496
売上総利益		30,254
返品調整引当金戻入額		426
返品調整引当金繰入額		341
差引売上総利益		30,339
販売費及び一般管理費		25,525
営業利益		4,813
営業外収益		
受取利息	5	
為替差益	1,157	
業務受託収入	173	
貸倒引当金戻入額	11	
雑収入	146	1,494
営業外費用		
支払利息	68	
雑損失	3	71
経常利益		6,236
特別利益		
固定資産売却益	1	
新株予約権戻入益	1	2
特別損失		
固定資産除却損	11	
投資有価証券評価損	2	
その他	0	13
匿名組合損益分配前税引前当期純利益		6,225
匿名組合損益分配額		26
税引前当期純利益		6,199
法人税、住民税及び事業税	1,402	
法人税等調整額	778	2,180
当期純利益		4,018

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

（ 平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで ）

(単位：百万円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
					繰越利益 剰余金			
当期首残高	1,500	66,550	66,550	143	△ 19,351	△ 19,208	48,842	48,842
当期変動額								
当期純利益					4,018	4,018	4,018	4,018
当期変動額合計	－	－	－	－	4,018	4,018	4,018	4,018
当期末残高	1,500	66,550	66,550	143	△ 15,333	△ 15,190	52,860	52,860

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準及び評価方法

イ. 有価証券の評価基準及び評価方法

① 子会社及び関連会社株式 移動平均法による原価法

② その他有価証券

時価のないもの 移動平均法による原価法

ロ. たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）によっております。

① 商品及び製品 月別総平均法による原価法

② コンテンツ制作勘定 個別法による原価法

③ 貯蔵品 最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法によっております。

主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 15～24年

建物附属設備 3～18年

工具器具備品 2～20年

② 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法、商標権は10年間の定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

- ③ 返品調整引当金 出版物の返品による損失に備えるため、当事業年度以前の実績に基づき必要額を計上しております。また、ゲームソフト等の返品による損失に備えるため、タイトル毎に将来の返品の可能性を勘案して、返品損失の見込額を計上しております。
- ④ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
- 退職給付引当金及び退職給付費用の処理方法は以下のとおりです。
- イ. 退職給付見込額の期間帰属方法
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。
- ロ. 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法
数理計算上の差異については、発生の翌事業年度に一括費用処理することとしております。過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（1年）による按分額を費用処理しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 7,730百万円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び債務は次のとおりであります。

(区分掲記されているものを除く)

① 短期金銭債権	37百万円
② 短期金銭債務	446百万円
③ 長期金銭債権	1,108百万円
④ 長期金銭債務	8百万円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

① 売上高	16百万円
② 仕入高等	996百万円
③ その他営業費用	709百万円
④ 営業取引以外の取引高	85百万円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

普通株式 30,000株

(2) 剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

5. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産の発生の主な原因は、賞与引当金否認、退職給付引当金超過額否認及びコンテンツ評価損否認であります。

(2) 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないことになりました。

これに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実行税率は、平成26年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異について、従来の38.01%から35.64%に変更されております。

その結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が184百万円減少し、法人税等調整額が同額増加しております。

6. リースにより使用する固定資産に関する注記

該当事項はありません。

7. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、資金調達については親会社である株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスからの出資及び借入によっております。

売掛金に係る顧客の信用リスクは、販売管理規程に取引の開始及び与信管理に関する規定を設け、リスク低減を図っております。未収入金及び差入保証金に係る取引先の信用リスクは、取引先の信用状況を継続的にモニターすることにより、リスク低減を図っております。なお、差入保証金は、主に本社及び事業所の社屋の賃借に伴う差入保証金であります。

買掛金は、1年以内の支払期日の営業債務であります。買掛金、未払金、未払費用、未払法人税等、未払消費税等、並びに預り金に関する決済時の流動性リスクは、毎月資金繰計画を見直す等の方法によりリスクを回避しております。

関係会社長期借入金は、平成22年3月の株式会社タイトソフトの吸収合併により受け入れたものであり、親会社の株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスからの借入であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成26年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	34,384	34,384	—
(2) 売掛金	19,639		
貸倒引当金(*)	△27		
売掛金(純額)	19,612	19,612	—
(3) 未収入金	165	165	—
(4) 差入保証金	1,182	1,125	△56
(5) 破産更生債権等	0		
貸倒引当金(*)	△0		
破産更生債権等(純額)	—	—	—
(6) 買掛金	5,121	5,121	—
(7) 未払金	2,875	2,875	—
(8) 未払費用	696	696	—
(9) 未払法人税等	1,210	1,210	—
(10) 預り金	269	269	—
(11) 関係会社長期借入金	10,000	10,000	—

(*) 売掛金・破産更生債権等に対応する貸倒引当金を控除しております。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金、並びに (3) 未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 差入保証金

差入保証金の時価は、差入額を返還までの期間及び差入先の信用リスクを加味した利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(5) 破産更生債権等

破産更生債権等は、回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。

(6) 買掛金、(7) 未払金、(8) 未払費用 (9) 未払法人税等、及び(10) 預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(11) 関係会社長期借入金

関係会社長期借入金は変動金利によるものであり、短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。

(注) 2. 当社が保有する投資有価証券（貸借対照表計上額1百万円）及び関係会社株式（貸借対照表計上額31百万円）はすべて非上場株式であり、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表には含めておりません。

(注) 3. 任意組合出資金（貸借対照表計上額2,704百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表には含めておりません。

8. 賃貸等不動産に関する注記

該当事項はありません。

9. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社

属性	会社等の名称	資本金又は出資金 (百万円)	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関係内容	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
				役員の兼任等				
親会社	株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	15,368	被所有 100	有り	借入金の返済 利息の支払	1,000 68	関係会社長期借入金	10,000

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 借入金の利率は、市場金利を勘案して合理的に決定しております。

(2) 兄弟会社等

属性	会社等の名称	資本金又は出資金	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関係内容	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
				役員の兼任等				
親会社の 子会社	SQUARE ENIX INC.	10百万 米ドル	—	有り	ロイヤリティ 収入	3,172	売掛金	1,447
親会社の 子会社	SQUARE ENIX (2009) LTD.	3百万 英ポンド	—	有り	ロイヤリティ 収入	1,826	売掛金	5,131
親会社の 子会社	株式会社 タイトー	1,500 百万円	—	有り	業務受託収入	154	未収入金	13

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 親会社の子会社との取引については、一般取引と同様、市場価格等に基づき交渉の上、決定しております

10. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	1,762,012円92銭
(2) 1株当たり当期純利益	133,939円96銭

11. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

12. その他の注記

該当事項はありません。